



YOKOHAMA  
National University

横浜国立大学 国際シンポジウム

# 生態環境リスクマネジメントにおける 空間情報基盤の役割

— 流域圏を対象とした地域環境リスクマネジメント手法の確立に向けて —

■ 日 時 : **2007年10月20日(土)** 13:00~17:45

(10月21日(日)は神奈川水源地域視察会※)

■ 場 所 : 横浜国立大学 教育文化ホール(正門から徒歩3分)

[http://www.ynu.ac.jp/access/acc\\_19.html](http://www.ynu.ac.jp/access/acc_19.html)

の地図を参照(74番の建物)

■ 主 催 : 横浜国立大学グローバルCOEプログラム「アジア視点の国際生態リスクマネジメント」  
横浜国立大学安心・安全の科学研究教育センター  
神奈川拡大流域圏空間情報プラットフォーム研究会(ニッセイ財団学際的総合研究助成)  
横浜国立大学教育研究高度化経費プロジェクト

「GIS(地理情報システム)を基盤とした文理融合型の地域研究教育拠点形成・そのII」プロジェクトチーム

■ 後 援 : (財)日本生命財団、(財)地球環境戦略研究機関、地理情報システム学会、エコケミストリー研究会、日本生態学会、(社)日本水環境学会、  
(社)環境科学会、横浜市環境創造局、国際連合大学高等研究所、環境アセスメント学会  
(独)国立環境研究所、環境経済・政策学会、日本土壌動物学会、神奈川県

■ 言 語 : 日本語・英語(同時通訳あり)

■ 参加無料(定員200名) : 資料、および同時通訳機材準備の都合がありますので、事前にお申し込み下さい。

■ 申し込み・問い合わせ : 横浜国立大学グローバルCOE事務局(担当:立川 賢一) TEL/FAX:045-339-4469 E-mail:gcoe1@ynu.ac.jp  
氏名・所属、連絡先をそえてお申し込みください。10/21の視察会参加の方はその旨合わせてご連絡ください

※10月21日(日)の視察会は参加費無料(先着20名まで)。バスで①山中湖(土壌を用いた汚水浄化)、②相模湖、または津久井湖(水質保全対策)などを視察予定。

## ≫ 開催趣旨

生態環境リスクマネジメントの目的は、人間活動による生態系の破壊と生態系サービスの劣化によるリスクを適切に管理して人類の持続可能性を確保することである。今日、その実践に向けた取り組みが求められており、そのためには実際のエリアを対象にデータを収集し、さまざまな影響要因間の相互関係を分析するなどの科学的な知見を積み上げて、それを多くの人々に理解しやすい形で提示して、適切な意思決定と行動を導きだすことが一つのアプローチである。

空間情報基盤は、地域の情報を時空間を鍵としてコンピューター上にデータベース化して格納し、可視化により人々の理解と検討を促進し、予測やモニタリングも含めて人間の行動を支援する有用なツールである。横浜国立大学ではその実践の場として、水という生存基盤で生態系と人間がつながっている神奈川の共同水利用圏域(神奈川拡大流域圏)を選択した。この情報基盤を駆使して地域のさまざまな環境リスクを的確に把握し行動していくリスクマネジメント手法の確立と、それをアジア視点の生態リスクマネジメントにつなげることをめざしている。

本シンポジウムでは、横浜国立大学グローバルCOEのキックオフとニッセイ財団環境問題学際的総合研究助成による研究の一年目のまとめとして、アメリカ合衆国と中国で同様の課題に取り組んでいる研究者を交えて議論するとともに、国際連携を展望する。

## ≫ プログラム

全体司会 横浜国立大学大学院 環境情報研究院 及川 敬貴

13:00～15:45

### 第1部 グローバルCOEプログラムの概要と国際連携

13:00～13:05

#### 1. 開会あいさつ

横浜国立大学副学長 渡辺 慎介

13:05～13:45

#### 2. 横浜国立大学GCOEプログラム 「アジア視点の国際生態リスクマネジメント」の概要とその空間情報基盤

横浜国立大学大学院環境情報研究院 金子 信博  
同 佐土原 聡

13:45～14:45

#### 3. アメリカ合衆国からの報告

レッドランズ大学研究所(所長) Jordan Henk  
同 Monty Hempel

14:45～15:45

#### 4. 中国からの報告

清華大学環境科学与工程系 杜 鵬飛  
同 賈 海峰

休 憩

16:00～17:45

### 第2部 神奈川拡大流域圏空間情報プラットフォーム研究会 (全体会議)

16:00～16:40

#### 5. 空間情報プラットフォームについての1年目の検討の報告

横浜国立大学大学院環境情報研究院 佐土原 聡

16:40～17:40

#### 6. ディスカッション

司 会 横浜国立大学大学院環境情報研究院 佐土原 聡

パネリスト レッドランズ大学研究所(所長) Jordan Henk  
同 Monty Hempel

清華大学環境科学与工程系 杜 鵬飛  
同 賈 海峰

横浜国立大学大学院環境情報研究院 金子 信博  
同 益永 茂樹

横浜国立大学大学院国際社会科学部研究科 金澤 史男

17:40～17:45

#### 7. 閉会あいさつ

横浜国立大学大学院環境情報研究院長 有馬 眞